

キャリア開発 院内教育プログラム

	レベルⅠ（新人）	レベルⅡ（一人立ち）	レベルⅢ（3～4年）	レベルⅣ（5～9年主任）	レベルⅤ（科長・係長）
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の組織・機能を把握し、新人の役割を理解する 2. 社会人としての接遇を身につける 3. 基礎看護技術・知識を習得し、ベツトサイドケアが確実にできる 4. チームメンバーの役割を理解し行動できる 5. 良好な人間関係が構築できる 6. 指導を受けながら看護計画に沿った看護実践を行うことができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を踏まえた看護実践能力を高めることができる 2. 自立して看護計画に沿った個別性のある看護展開ができる 3. 係や委員会を通して主体性や協調性のある行動をとることができる 4. 自分の担当部署の業務を実践しながらグループリーダーの役割を果たすことができる 5. 医療事故、トラブル発生時、支援を受けながら対応できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆる場面で円滑な人間関係を保て、質の高い看護実践につなげられる ・あらゆる場面で良好なコミュニケーションがとれ、専門職として責任を持った看護が提供できる 2. 看護実践の役割モデルを発揮し、看護の質を高めることができる ・看護実践の経験を積み重ねることで、看護のスタイルを構築することができる 3. 組織人として自主的に院内活動を行い、病院運営の役割を担うことができる ・自主的に係や院内活動に参画でき、業務改善に貢献できる 4. チームリーダーとしての責任を持ち、役割を果たすことができる ・看護チームのリーダーシップをとることができる ・患者・家族や同僚と円滑な人間関係を保つことができる 5. プロとしての態度・言動をとり、役割モデルになれる ・ライフスタイルの方向性を見いだせる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織の理念や方針を理解し、顧客の視点で看護単位の運営を補佐することができる 2. 専門領域において役割モデルとなり、専門性が発揮できる 3. 所属部署の目標を達成するための活動を推進する。 ・目標達成に向けて病棟内外の職種とコミュニケーションをとり、連絡調整をすることができる ・看護所属長とスタッフのパイプ役として力を発揮することができる 4. 部署の教育体制を把握し調整することができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織人として自主的に院内活動を行い、病院運営の役割を担うことができる ・人材育成を考慮し、組織運営にかかわることができる 2. 目標管理手法を理解し、自部署での管理に役立てることができる 3. あらゆる場面で円滑な人間関係が保て、質の高い看護実践につなげられる ・人権を尊重したかわりが持て、諸問題に対して積極的に取り組むことができる
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人オリエンテーション 2. 救急看護(AEDなど) 3. 医療看護事故防止対策 4. フィジカルアセスメント 5. リフレッシュ研修(看護協会) 6. 人工呼吸器の看護管理 7. 接遇研修 8. 看護倫理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーシップ研修 2. アサーション研修 3. プリセプター研修 4. ケーススタディ発表 5. フォローアップ研修 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護必要度研修 2. 病院機能評価研修 3. 臨床実習指導者研修 4. 看護研究発表 5. その他 千葉県看護協会キャリアアップ研修 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の質向上研修 2. ファーストレベル研修 3. 主任初任者研修 4. 臨床実習指導者研修 5. 認定看護師研修 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理Ⅱ 2. グループ内留学研修 3. セカンドレベル研修
認定	部署認定 看護実践力を身に付ける	部署認定 専門職業人としての自覚を持ち、看護師として自立できる	看護部認定 よりよい病棟運営の参画ができる	看護部認定 看護の役割モデルを発揮できる 質の高い看護実践が展開できる	看護部長・副部長認定 コーディネーターとしてマネジメント能力が発揮できる